# 第四紀研究 第45巻

## 目 次

### 第1号(2月)

### 原著論文

小野映介・大平明夫・田中和徳・鈴木郁夫・吉田邦夫:完新世後期の越後平野 中部における河川供給土砂の堆積場を考慮した地形発達史	1
宮縁育夫・杉山真二:阿蘇カルデラ東方域のテフラ累層における最近約3万年 間の植物珪酸体分析	5
里口保文・山川千代美:伊吹山山麓の米原市寺林地域に分布する礫質堆積層の 年代	9
短  報	

### 

## 第2号(4月)

#### 原著論文

鴨井幸彦・田中里志・安井賢:越後平野における砂丘列の形成年代と発達史67
植木岳雪:関東平野西縁,上鹿山面,狭山面の古地磁気による編年81
<ul> <li>Sakai, T., Takagawa, T., Gajurel, A.P., Tabata, H., Ooi, N. and Upreti,</li> <li>B.N. : Discovery of Sediments Indicationg Rapid Lake-level Fall in the</li> <li>Late Pleistocene Gokarna Formation, Kathmandu Valley, Nepal :</li> <li>Implication for Lake Terrace Formation</li></ul>
中尾賢一:長崎県島原半島に分布する下部更新統加津佐層の貝化石相
短一報
Yoshida, H., Sugai, T. and Ohmori, H.: Transportation Mechanism of Debris Avalanche Event at 24ka of Asama Volcano, Central Japan, Interpreted from Chemical Composition of the Deposits
大上隆史・須貝俊彦:後期更新世以降における四日市断層の活動性評価131
資 料
北村晃寿・加瀬友喜・海野進・山本なぎさ・大橋秀一・平本真弓・若山奈々美・ 雨宮真理子:沖縄県伊江島の海底洞窟堆積物から見つかった軽石散在層
書 評······145

# 第3号(6月)

特集「"ナウマンゾウのいた頃"―千葉県袖ヶ浦市吉野田の化石発掘調査報告―」
口絵 伊佐治鎭司・兼子尚知・平山 廉・髙桒祐司・樽 創・鵜飼宏明・加藤 久佳・百原 新:千葉県袖ヶ浦市吉野田の下総層群清川層より産出した陸生 生物化石群
兼子尚知・岡崎浩子:シンポジウム「ナウマンゾウのいた頃」―千葉県袖ヶ浦 市吉野田の化石発掘調査報告―
岡崎浩子・中里裕臣・池田 宏:更新統下総層群清川層にみられる海水準上昇 初期の洪水堆積物
伊佐治鎭司・鵜飼宏明:中部更新統下総層群清川層から産出した淡水生貝類化 石群,特にその生息環境のpHに関する考察
平山 廉・兼子尚知・岡崎浩子:更新統下総層群清川層より産出した化石カメ 類
樽 創・兼子尚知:千葉県袖ヶ浦市吉野田の下総層群から産出したナウマンゾ ウ化石
高桒祐司:千葉県袖ヶ浦市の下総層群清川層産出のシカ類化石
樽 創・髙桒祐司・兼子尚知:千葉県袖ヶ浦市吉野田の下総層群清川層から産 出したイヌ科前臼歯化石
百原 新·斎木健一・奥田昌明:下総層群清川層の大型植物化石群とそれにも とづく古気候復元
奥田昌明・百原 新・平山 廉・岡崎浩子・兼子尚知:下総層群清川層堆積期 間(MIS7)の古気候状態―花粉ほか代理指標からの考察―
原著論文
藤原 治・平川一臣・入月俊明・鎌滝孝信・内田淳一・阿部恒平・長谷川四郎・ 高田圭太・原口 強:1703年元禄・1923年大正関東地震に伴う房総半島南 西岸の館山浜堤平野システムの発達過程
短  報
高田裕行・板木拓也・池原 研・山田和芳・高安克己:有孔虫化石が示す完新 世初~中期の山陰地方沿岸域における対馬対流
資 料
青木かおり・大串健一:下北半島沖海底コア MD01-2409 に介在する濁川テフラ257

# 第4号(8月)

### 原著論文

Miyauchi, T., Minawa, T., It	to, T., Kato, H., Kawamura, T., Ikawa, T. and	
Asao, K. : Structurally Co	ntrolled Geomorphology on the Southern Boso	
· · ·	n : Investigation Using Seismic Reflection	
Profiling ·····		
佐々木俊法・須貝俊彦・柳田	誠・守田益宗・古澤 明・藤原 治・守屋俊文・	

中川 毅・宮城豊彦:東濃地方内陸小盆地埋積物の分析による過去 30 万年

間	の古気候変動
	靖久・宮地直道・井上公夫:新富士火山の噴火活動に伴う上井出扇状地の
発	達史····································
短	報
井上.	弦・長岡信治・杉山真二:島原半島南東部における姶良 Tn テフラを挾

# 第5号(10月)

# 「汽水域における完新世の古環境変動ー自然環境の変遷と人為改変による環境変化ー」特集号

## 原著論文

瀬戸浩二,山田和芳,高田裕行,坂井三郎:汽水域における完新世の古環境変 動-自然環境の変遷と人為改変による環境変化
Yamaguchi, K., Seto, K., Takayasu, K. and Aizaki, M. : Shell Layers and Structures in the Brackish Water Bivalve, Corbicula japonica
平井幸弘:霞ヶ浦の湖岸・沿岸帯における人為的要因による環境変化
Nomura, R., Nemoto, N. and Komura, K. : Environmental Changes in Brackish Lake Obuchi-numa, Aomori Prefecture, Northeast Honshu, Japan, with Spacial Reference to Sea-level Variation in the 20th Centry
Takata, H., Seto, K., Sakai, S., Tanaka, S. and Takayasu, K. : Hypolimnetic Transitions and Sand-bar Development in Aso-kai Lagoon (Central Japan) during the Past 1,200 Years, Inferred from Benthic Foraminifera
瀬戸浩二,中武 誠,佐藤高晴,香月興太:斐伊川の東流イベントとそれが及 ぼす堆積環境への影響
山田和芳,高安克己:出雲平野-宍道湖地域における完新世の古環境変動-ボ ーリングコア解析による検討
中村唯史:山陰中部地域における完新世の海面変化と古地理変遷

# 第6号(12月)

### 原著論文

吉田明弘:青森県八甲田山田代湿原における約13,000年前以降の古環境変遷	$\cdot \cdot 423$
菅沼悠介・青木かおり・松敏也・山崎俊嗣:北西太平洋海底コアにおける過去 30 万年間のテフラ層序:広域テフラおよび帯磁率変動曲線の対比に基づく 年代モデルの構築	···435
山口正秋・須貝俊彦・藤原治・大上隆史・大森博雄:木曽川デルタにおける沖 積最上部層の累重様式と微地形形成過程	$\cdot \cdot 451$
山下大輔・吉川周作・塚腰実・長岡信治・熊原康博:愛媛県大洲・内子盆地に 分布する下部-中部更新統の層序と編年	··463

## 短 報

宍倉正展・永井節治・二階堂	学・臼井武志・徳光雅章・木曽教育会濃ヶ池調	
査研究会:木曽山脈・大棚)	入山で発見された大規模山体崩壊跡47	9